

御嵩町 山田地区・小原地区

令和3年度

【地域の概要】

- 御嵩町は岐阜県の中南部、可茂地域の南部に位置し、森林が約60%を占める。農業経営の中心は水稲。
- 山田地区は御嵩町の西部に位置し、担い手が営農を行っている。
- 小原地区は御嵩町の東部に位置し、中山間集落協定組織が営農を行っている。

①取組開始前の状況や課題

町内の遊休農地

○農業者の高齢化と後継者不足により、遊休農地が発生しやすい状況

- 遊休農地面積 2.8ha
- 本年度解消目標 0.5ha

委員会主導の解消活動

○担い手を確保したうえで委員が草刈作業を実施

- 平成30年度 5筆・5,103㎡
- 令和元年度 8筆・7,714㎡

②取組内容

遊休農地の利用調整

○担い手である(農)ふしみ営農や中山間集落協定組織と耕作・維持管理について調整

解消活動の実施（令和3年12月）

○農業委員・推進委員15名、事務局・農業会議が草刈作業

○山田地区1,411㎡、小原地区2,062㎡が再生された



約2時間の再生作業を終えた農業委員・推進委員

③今後の展開と方向性

再生後の農地

○担い手である(農)ふしみ営農に利用集積（山田）

○中山間集落協定組織である小原樋ヶ洞集落による維持管理（小原）

担い手確保→遊休農地再生

○遊休農地の解消を一時的に行うのではなく、安定的に耕作を行うことができる担い手の確保が必要

○引き続き、担い手の営農している農地周辺の遊休農地を優先してマッチングし、解消活動を行っていく

山田地区

<遊休農地の形状・周囲の状況>



<再生前>



<再生作業>



<再生後>



小原地区

<遊休農地の形状・周囲の状況>



<再生前>



<再生作業>



<再生後>

